

平成24年度 我孫子市特別職報酬等審議会 概要

1. 会議名称	我孫子市特別職報酬等審議会
2. 開催日時	平成24年11月8日(木) 午後2時から
3. 場所	議事堂 第一委員会室
4. 出席者	委員 米澤会長、中尾委員、飯田委員、石崎委員、加藤委員、柴田委員 事務局 星野市長、倉部総務部長、日暮総務部次長、川村副参事、岡本課長補佐、海津、黒田
5. 議題	常勤特別職等の給与改定及び議員の報酬改定(案)について
6. 公開非公開の別	公開
7. 傍聴人	2人

8. 会議の内容

事務局：倉部総務部長：ただ今より我孫子市特別職報酬等審議会を開催します。会議に先立ちまして本審議会の成立要件について報告します。本日の出席者が過半数を超えているため、審議会条例第6条第2項の規定により本審議会は成立します。  
次に市長より挨拶を申し上げます。

— 市長より挨拶 —

事務局：倉部総務部長：これより議事の進行を会長にお願いします。

米澤会長：諮問事項について事務局より説明をお願いします。

— 事務局より説明 —

米澤会長：諮問事項について、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

石崎委員：平成24年度までの特別職の給料と議員報酬の削減を解除して、あらためて平成25年度から削減を行うということでしょうか。

事務局：日暮総務部次長：平成22年度から平成24年度まで単年度ごとに削減を措置してきましたが、今後、条例改正を行わなければ、平成25年4月1日から削減前の給料月額に戻ります。ご指摘のとおり、今回の諮問案は平成25年4月1日からの削減を行うものです。

加藤委員：前回の勉強会で説明がありました、近隣市の状況、市の財政状況、人事院勧告

に基づいた削減内容になっているのでしょうか。

事務局：日暮総務部次長：人事院勧告と近隣市の状況との関係はありません。市の財政状況を考慮し、来年度以降も一般職の給料の削減を検討しており、特別職の給料も同様に削減するものです。

事務局：倉部総務部長：一般職については給与水準を引き下げる意図もあります。特別職と議員は近隣市との比較において低い水準にあるため、削減する根拠はありませんが、一般職の削減に歩調を合わせたいという特別職と議員の意思に基づいた内容になります。

中尾委員：市のラスパイレス指数が全国的に高いという状況について教えてください。

事務局：日暮総務部次長：ラスパイレス指数とは国家公務員と市職員の一般行政職の給料を比較したもので、基準学歴と経験年数ごとに国家公務員の指数を100として、市職員の指数を算出したものです。平成23年度の指数は102.7ポイントで、削減措置後も2.7ポイント上回っており、削減措置を行わなければ、およそ104.5ポイント程度になり、非常に危惧しているところであります。ちなみに平成22年度も削減措置を講じましたが、指数は102.5ポイントでした。比較対象となる国家公務員の高給層が独立行政法人に移行した場合等、平均給料が下がれば相対的に市の指数が上昇するなど様々な要因がありますが、給与水準が高いということは認識しています。

柴田委員：特別職の給料は類似団体の中でも少ない方ですが、一般職についてはラスパイレス指数が高いということは、平均給料が高いということでしょうか。

事務局：日暮総務部次長：ラスパイレス指数は給与水準の指標の一つであり、給与水準は高いと認識しています。

事務局：倉部総務部長：通常であればラスパイレス指数は給料額だけで算出しますが、この他に、給料に地域手当を加えた金額で算出した補正後のラスパイレス指数があり、これは99.0ポイントです。現在の給与制度であれば、補正後のラスパイレス指数が本来の給与水準を表すものだと思いますが、総務省は給料額だけのラスパイレス指数に重点を置いています。地域手当は地域によって割合が違いますので、補正後のラスパイレス指数のとおりには本当は給与水準は低いと一概に考えることはできませんが、給料額だけのラスパイレス指数が高いことを謙虚に受け止めて、一般職の給料を削減し同様に特別職の給料と議員報酬を削減するということです。

加藤委員：ラスパイレス指数が高いのは、市職員の平均年齢が高いことが要因の一つであると思いますが、今後、職員構成の新陳代謝が進むことによって、ラスパイレス指数が下がることになるのでしょうか。

事務局：日暮総務部次長：職員の平均年齢は県内トップクラスであり、この影響は否定できませんが大きな要因ではありません。最近では経験年数が30年以上の職員が多数退職していますが、ラスパイレス指数は下がっていませんので、年数が経てば解決されるとは言いきれません。

飯田委員：若い職員にはプライドを持って一生懸命仕事に取り組んでもらいたいが、その

ためにも相応の給料を支給してもらいたいと思います。

中尾委員：一般職は給料が3%以上の削減になる者がいる中で、特別職の給料と議員報酬は約2%の削減ですが、一般職員は納得できるのでしょうか。

事務局：日暮総務部次長：一般職については、給与水準を抑制する観点からこれまでよりも確実にラスパイレス指数を下げるため、各級ごとに2～3.5%の割合で段階的に給料を削減するものとなりました。特別職の給料と議員報酬にあつては類似団体、近隣市に比べ必ずしも高い水準にあるわけではなく、一般職の給料の削減を考慮し行うものであり、水準を見直すためではないと言えます。

米澤会長：平成22年度から3か年計画で給料の削減を行っていますが、今後も給料表の改定ではなく時限的に措置するのはなぜでしょうか。

事務局：倉部総務部長：これまで給料を削減した3年の間にラスパイレス指数が下がる要因を分析してきましたが、今後は再度検証を重ねる期間として捉えています。

米澤会長：それではここで採決を行います。市長より諮問のあつた、諮問案について、賛成の方は、挙手をお願いします。

— 出席者全員挙手 —

米澤会長：採決の結果、全会一致により、原案どおり承認することで決定し、市長へ答申したいと思います。

それでは、以上をもちまして本日の特別職報酬等審議会を閉会いたします。

長時間に渡るご審議ありがとうございました。

午後3時00分終了

## 9. 諮問以外の意見

### ○ 非常勤特別職の報酬のあり方について

- ・ 千葉市特別職報酬等審議会では非常勤特別職の報酬について審議された事例の紹介（飯田委員）

### ○ 議員定数の削減について

- ・ 現職議員の選挙広報で10名の議員が定数削減を謳っている。
- ・ 柏市は市民1万1千人に対して議員1人の割合にある。（以上加藤委員）
- ・ 議員定数は柏市、松戸市、船橋市、市川市では1万人強に1人の割合となっている。
- ・ 浦安市は議員定数が21名なのに対して、これより人口規模が少ない我孫子市では24名となっている。（以上飯田委員）
- ・ 歳出における議会費の割合による他市との比較。（石崎委員）